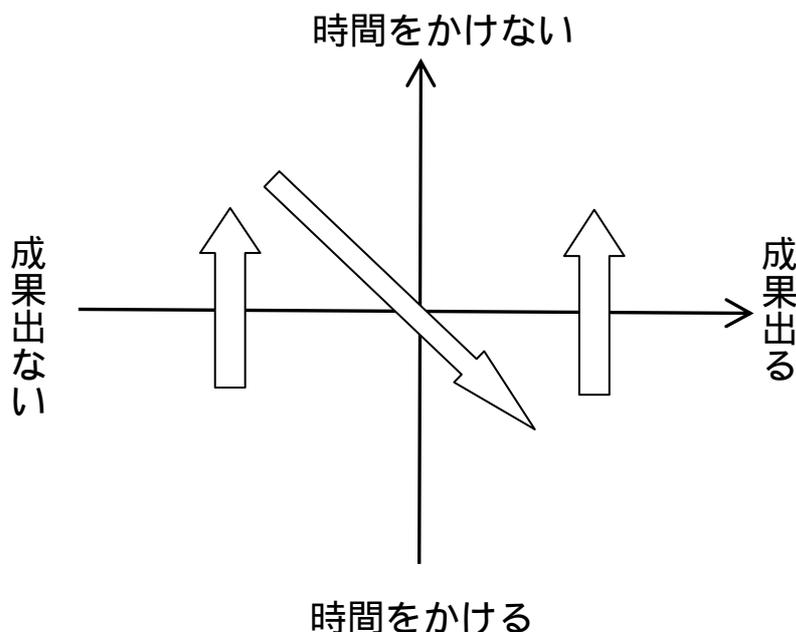


ワンポイントレッスン 「最短距離思考」

まずは図をご覧ください。タテ軸に「時間をかけるー時間をかけない」とし、ヨコ軸に「成果が出ないー成果が出る」とします。



の人は、時間をかけて、そして成果が出ない最悪の人です。

の人は、時間をかけない(思考はOKです)のはいいのですが、成果が出ない人です。評論家タイプと呼んでいます。

の人は、時間をかけて、そして成果を出す人です。努力家で自分ひとりで色々なことを達成するタイプです。

の人が、『最短距離思考』の人です。なるべく時間をかけずに最大の成果を上げる人です。

今日は、いかにして のタイプになるかをお話したいと思います。

まずは、どうしたら成果を出すか?についてお話します。サラリーマンと起業家の違いは、サラリーマンは、たとえ成果を出さなくても、給料がもらえるのに対し、起業家は、成果を出さなければ生きていくことができない!ということです。だから必死さが違うと言えるでしょう。

私は両方を経験しているので、よく分かるのですが、サラリーマンが「成果に結びつかない行動」も無意識にしてしまうのに対し、起業家は「成果に結びつかない行動」は意味

がないのではない！ということです。

当たり前の話ですが、「成果に結びつく行動」に集中する人だけが、成果を出すことができるのです。本当の意味での「アクティブな人」です。どうしても意識をしないとパッシブ（受身）になってしまいます。自分が源ですべての責任を自分で取るという姿勢が「成果」には必要なのです。

次に、どうしたら時間をかけないか？ですが、これは、「自分にしかできないことしかしない」という考え方が大切です。

人は、どうしても自分以外の人ができることでもしてしまいます。特に日本のサラリーマンは、長い時間、働くことが評価の対象になることが多いので、どうしても色々な仕事をしてしまいます。

でも私は、「人には、それぞれの役割（使命）がある」ということを信じているので、自分の役割（使命）を知って、それを果たすことを考えます。そしてそれぞれの周りの人の役割（使命）」を果たせるように考えています。それぞれが補完し合って、それぞれの役割（使命）を果たすときに、最大のパフォーマンスを上げることができるのではないのでしょうか？

この2つの思考、すなわち、とにかく成果を出す！ということと、「自分にしかできないことしかしない」という思考で、それ以外は、他の人の助けを得る！という思考が合わさったときに、『最短距離思考』が完成するのです。